

調達件名	警察学校・機動隊非常用自家発電設備点検
予算執行者	支出負担行為担当官長野県警察会計担当官（長野県警察本部長）
契約種類	役務提供等のその他の契約
契約種別	総価契約
履行期限	令和8年3月31日
納入場所	警察学校・機動隊
契約方法	随意契約
見積書提出 期限、場所	令和7年8月4日 午後2時00分 警察本部警務部会計課
見積合わせ の日時等	令和7年8月4日 午後2時00分 見積参加者の立ち会いを求めない
説明書等	オープンカウンター（公募型見積合わせ）説明書による
本件調達に 係る照会先	見積手続き等に関する照会先 警務部会計課施設室 026-233-0110（2238） 仕様等に関する照会先 警務部会計課施設室 026-233-0110（2238）
参加資格	次のいずれにも該当する者であること。 1 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。 なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。 2 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。 3 契約担当官等から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。 4 警察当局から、暴力団又は暴力団員が実質的に経営を支配する事業者又はこれに準ずるものとして、国発注業務等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。 5 点検従事者は、以下の資格を有する者とする。 消防法施行令第36条の消防設備士免状の交付又は総務省令で定める資格を有するもの。
説明会	開催しない
技術資料等 の提出内容	提出を求めない
その他	見積書提出時に誓約書及び「参加資格 5」に記載されている内容を証する書類（資格者証の写し等）を提出すること。
仕様書	
業務内容 警察学校・機動隊非常用自家発電設備点検 詳細は、別添、仕様書、内訳書、点検表による。	

仕 様 書

1 業務名 警察学校・機動隊非常用自家発電設備点検

2 業務場所 長野市松代町西条字舟折3929 警察学校
長野市松代町西条字中条4030 機動隊

3 履行期限 令和8年3月31日

4 業務内容

(1) 非常用自家発電設備の点検

- 機器点検：年2回
- 総合点検：年1回
- 対象機種：詳細仕様は別紙のとおり

(2) 保守点検内容

ア 本業務における基本的事項については、「建築保全業務共通仕様書 令和5年版（以下「共通仕様書」という。） 第1編 総則及び第2編 定期点検等及び保守」に基づくものとする。

イ 点検の範囲等

点検の数量や詳細な内容については、内訳書及び別添「点検票」による。

ウ 保守の範囲

共通仕様書に基づき下記のとおりとする。

- (ア) 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃
- (イ) 取付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
- (ウ) ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増締め
- (エ) 次に示す消耗部品の交換又は補充
潤滑油、グリス、充填油等
パッキン、ガスケット、Oリング類
- (オ) 接触部分、回転部分等への注油
- (カ) 軽微な損傷がある部分の補修
- (キ) 塗装（タッチペイント）

※ 保守点検について、特に定めが無い事項については、共通仕様書によるものとし、疑義が生じた場合は発注者と協議するものとする。

5 提出書類

(1) 業務完了届

(2) 点検結果報告書

ア 点検票

機器点検（年2回）及び総合点検（年1回）は、別添「消防庁告示第14号」別記様式第24及び25の点検票の作成

イ 写真（機器点検及び総合点検の実施状況）

ウ その他点検結果資料

※ 警察学校・機動隊それぞれに作成すること

6 特記事項

(1) 本仕様書に記載されている事項以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書（令和5年版）」及び「消防庁告示第9号（平成16年5月31日）」による。

ただし、本業務に関係しない事項は適用しない。

(2) その他仕様書に明記ないもので当然必要と認められるものは、作業に先立って係員と打ち合わせのうえ実施すること。

(3) 警察学校・機動隊の業務運営に支障がないよう、警察学校・機動隊と十分協議のうえ行うこと。

(4) 業務完了後は、速やかに業務完了届、点検結果報告書及び写真等必要書類を提出すること。

提出期限

機器点検1回目・・・・・・・・・・・・・・・・9月末まで

機器点検2回目、総合点検・・・・・・・・3月末まで

(5) 機器点検は履行期限までに2回（9月中に1回、3月中に1回）行うものとする。

ただし、発注者との日程調整において点検が困難な場合は協議により発注者が定める日とする。

(6) 総合点検は3月中に1回行うものとする。

なお、機器点検時と同時に行うことも可とする。

自家用発電機仕様書

要目表

形式	キュービクル式 屋外型	
台数	1台	
発電装置用途	非常用	
連続運転可能時間	168時間以上	
発電機	相数及び電圧	三相3線式 200V
	周波数	60Hz
	極数	4極
	定格回転速度	1800min ⁻¹
	定格出力	200kVA
	力率	0.8(遅れ)
原動機	種別	ディーゼル機関
	定格出力	180kW以上
	始動方式	電気式
	冷却機能	ラジエータ式
	過給方式	過給機付
配電盤	形式	搭載型
	制御方式	自動始動及び自動停止
	種別	MCCB
	主遮断器定格電流	600A
燃料	種別	軽油
	主燃料槽	T0-4
	燃料小出槽	TOSG-950(屋外形)
	付属品	フロートスイッチ、移送ポンプ(制御盤付)付
直流電源盤	盤形式	搭載型
	種類	長寿命MSE
その他		消音器の騒音値は、消音器出口及び
		機側1mを85dB以下とする
		給油口看板

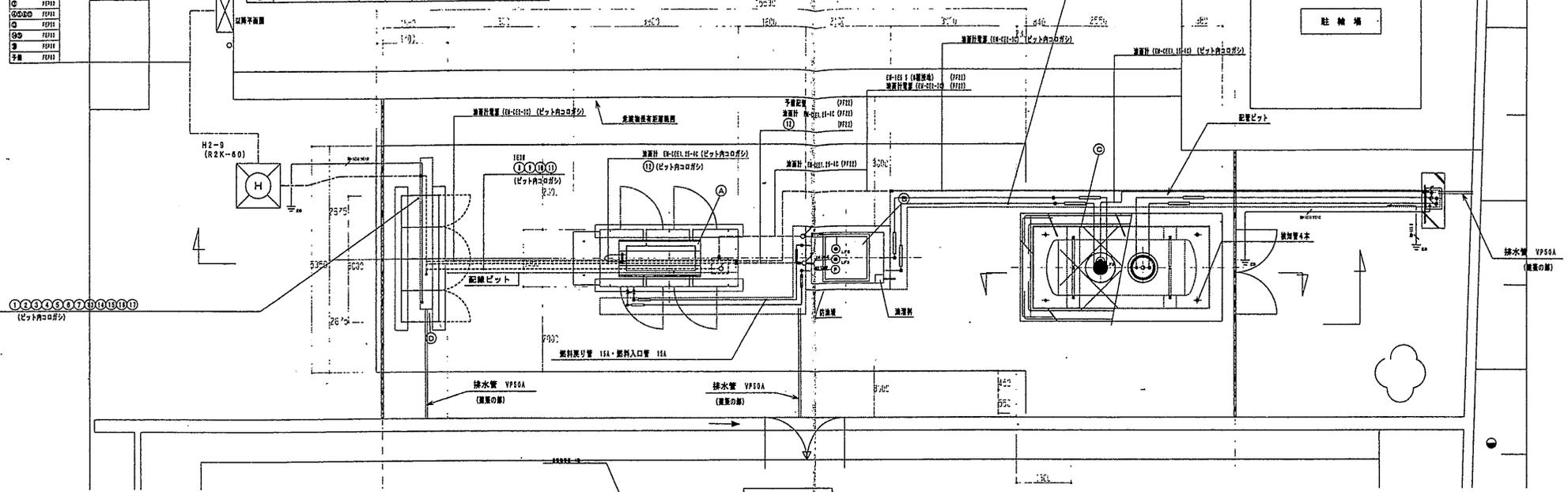
保護装置一覧表

項目	警報表示灯	警報	機関自動停止	主回路遮断	外部信号
緊急停止	○	○	○	○	○(一括)
始動渋滞	○	○	○	—	
過回転	○	○	○	○	
過電流	○	○	—	○	
潤滑油油圧低下	○	○	○	○	
冷却水温度上昇	○	○	○	○	

番号	記号	記号サイズ	行先	番号	記号	記号サイズ	行先
①	EM-FP60-2C	2C	7	①	EM-FPT225x2	225x2	7
②	EM-FP60-2C	2C	7	②	EM-CE1. 25-4C	25-4C	7
③	EM-DET100	100	7	③	EM-CE5. 5-2C	5-2C	7
④	EM-DES. 5-3C	5-3C	7	④	EM-CEE1. 25-4C	25-4C	7
⑤	EM-DES. 5-3C	5-3C	7	⑤	EM-CE3. 5-4C	5-4C	7
⑥	EM-DET22	22	7	⑥	EM-CET31	31	7
⑦	EM-FPT22	22	7	⑦	EM-DET22	22	7

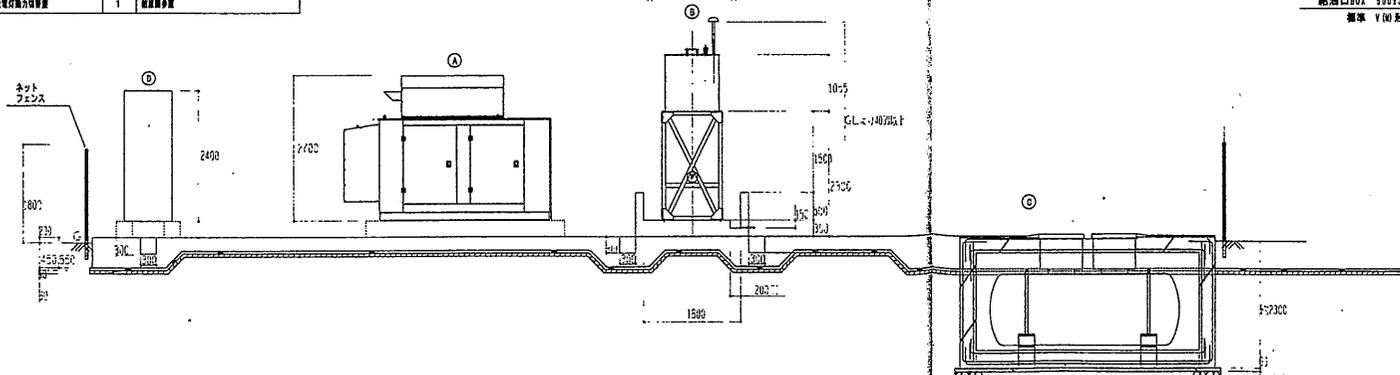
行先別
 7 ア 電灯動力配線-スコットTR配-1
 7 イ 電灯動力配線-換気
 7 ウ 電灯動力配線-ポンプ制御
 7 エ 電灯動力配線-送風機
 7 オ 電灯動力配線-送風機-ピル
 7 カ 電灯動力配線-換気機配線LP-1

- ① F111
- ② F112
- ③ F113
- ④ F114
- ⑤ F115
- ⑥ F116
- ⑦ F117

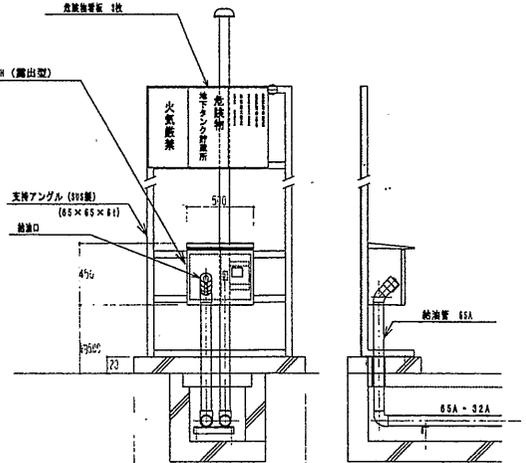


番号	名	種	数量	備	考
①	ディーゼル発電機	1	200kVA		
②	燃料タンク	1	950L		
③	給水タンク	1	容量 4000L		
④	送風機	1			

機器配置平面図 S=1/50



機器配置断面図 S=1/50



項目	内容	備考
口産名	長野県警署	記号 (E-12)
所在	長野県 長野市 松代町 西条 3113 番地	縮尺 1/24
取組	新設 屋外 発電設備配線図	調査年月日 平成14年11月15日
内容	構内配線図	調査者 国土交通省 土屋 昌隆

(電気の部)

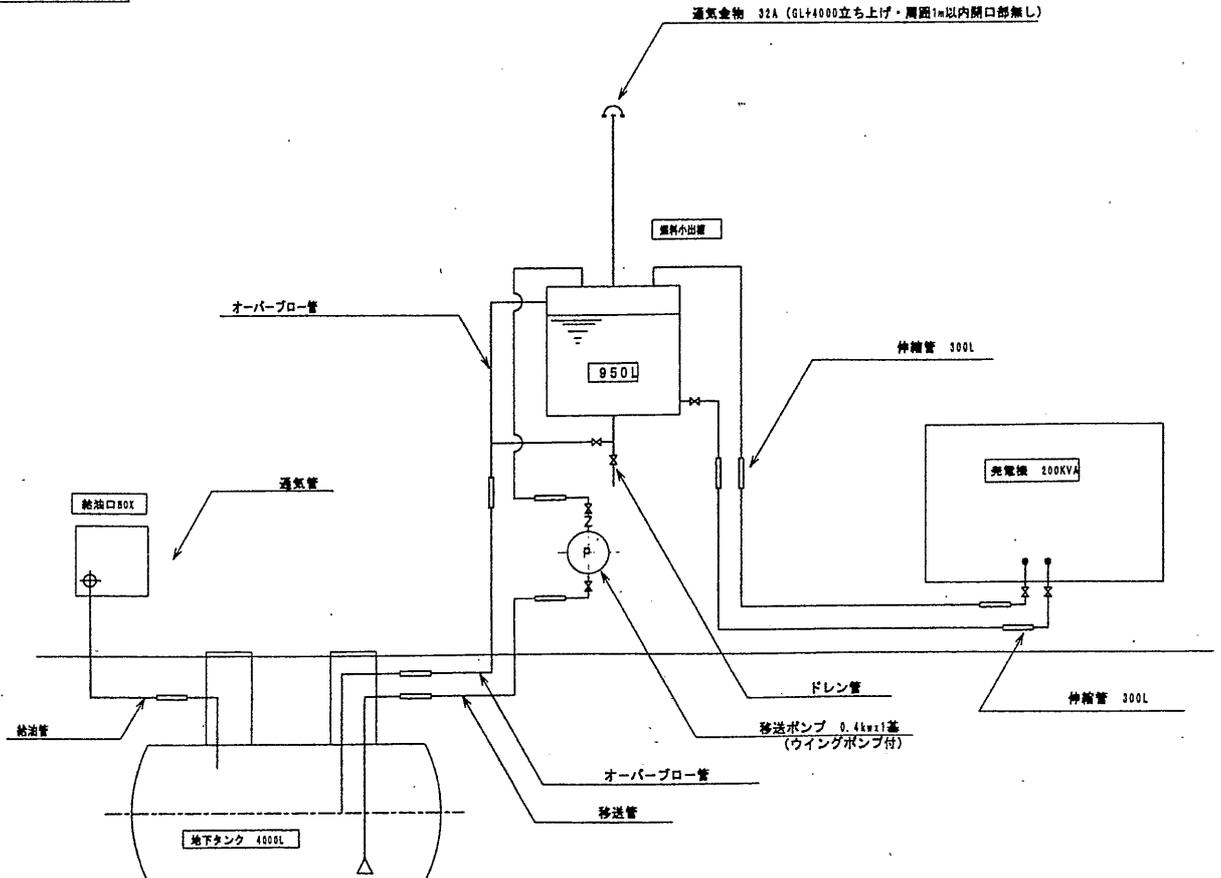
要目表

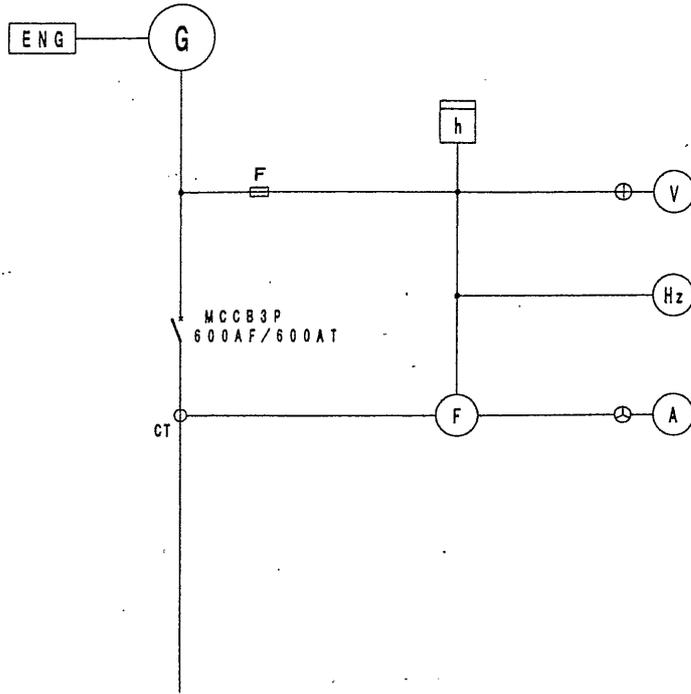
形式	キュービクル式 屋外型	
台数	1台	
発電装置用途	非常用	
連続運転可能時間	168時間以上	
発電機	相数及び電圧	三相3線式 200V
	周波数	60Hz
	極数	4極
	定格回転速度	1800min ⁻¹
	定格出力	200kVA
原動機	力率	0.8 (遅れ)
	種別	ディーゼル機関
	定格出力	180kW以上
	始動方式	電気式
	冷却機能	ラジエータ式
配電盤	過給方式	過給機付
	形式	搭載型
	制御方式	自動始動及び自動停止
	種別	MCCB
燃料	主遮断器定格電流	600A
	種別	軽油
	主燃料槽	T0-4
燃料	燃料小出槽	TOSG-950 (屋外形)
	付属品	フロートスイッチ、移送ポンプ (制御盤付) 付
	直流電源盤	格形式
直流電源盤	種類	長寿命MSE
	その他	消音器の騒音値は、消音器出口及び機側1mを85dB以下とする 給油口看板

保護装置一覧表

項目	警報表示灯	警報	機関自動停止	主回路遮断	外部信号
緊急停止	○	○	○	○	○ (一括)
始動渋滞	○	○	○	—	
過回転	○	○	○	○	
過電流	○	○	—	○	
潤滑油油圧低下	○	○	○	○	
冷却水温度上昇	○	○	○	○	

配管系統図





(電気の部)

完成 図	口座名	長野県警察学校	記 号	(E-03) 03/10
	所 在	長野県 長野市 松代町 西条 3229番地	縮 尺	1/1000
内 容	発電設備	機器仕様書	調整年月日	平成24年3月25日
	単線結線図		調 査 者	国土交通技官 土屋 昌博

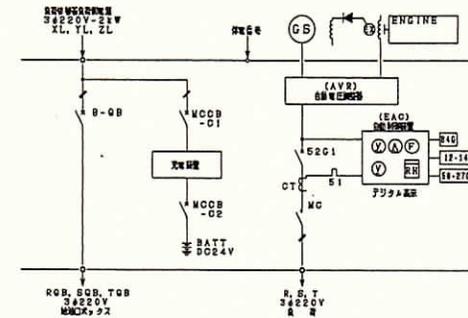
発電機設備 仕様書

記載事項	記載内容	
形式	屋外キュービクル形	
台数	1台	
発電機用途	非常用	
連続運転可能時間	168時間以上	
設置場所高さ	標準400m	
発電機	相数及び電圧	三相3線式 220V
	周波数	60Hz
	極数	4極
	定格回転速度	1800min ⁻¹
	定格出力	62.5kVA
	力率	0.8(遅れ)
	原動機	種類 ディーゼル機関 定格出力 70kW 以上 始動方式 電気式 冷却方式 ラジエータ式 送給方式 無送給器
配電盤	形式 搭載形 制御方式 自動始動及び自動停止	
始動用回路	盤形式 搭載形	
電源盤		
排気消音器	数量 1台	
燃料	種類	軽油
	燃料小出槽 容量	950L (TOSG-950) (屋外形)
	材質	ステンレス製
付属品	フロートスイッチ、ウイングポンプ付	
給油ボックス	種類	屋外 自立形
	材質	ステンレス製
	給油口サイズ	65A
	付属品	送油油量指示計 移送ポンプ×2 (制御盤付) ローリーアース端子
地下貯油槽	種類	軽油
	燃料タンク	地下タンク950L (TO-0.95)
	付属品	検知管 マンホール 液面指示計、送気口等
その他	・消音器の騒音値は、消音器出口1mにおいて75dB(A)以下とする。	
	・送気口は、原田1mに同等の開口部のない位置に設置すること。	
	・形状及び寸法は参考値とする。	
	・温度：-15℃～40℃	
	・消火器BOX (ステンレス製) 10型2台収納用 2箱 納入のこと。	

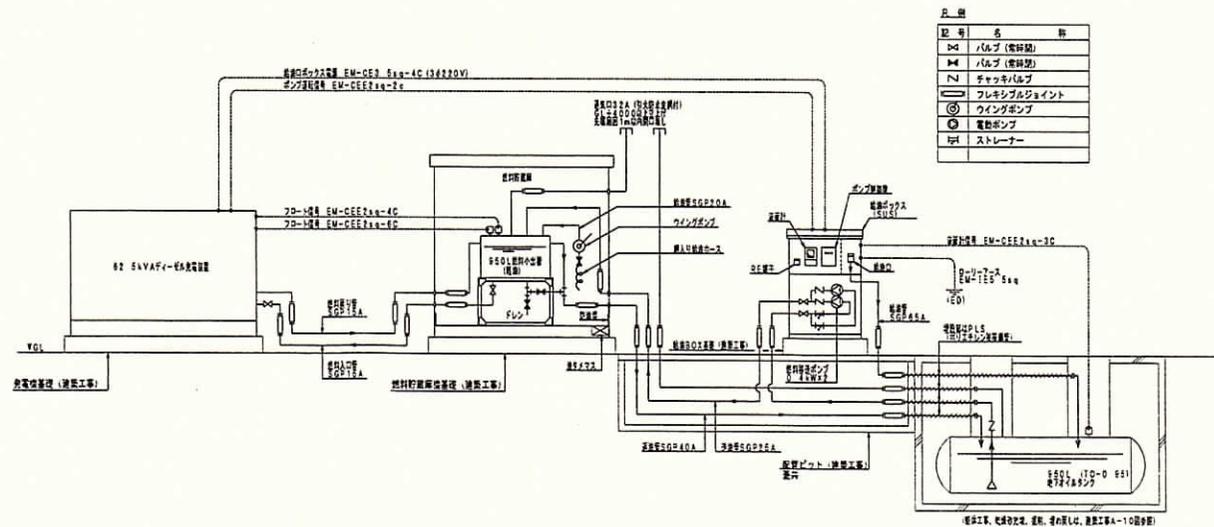
保護一覧

種別	項目	原動機停止	主回遮断	表示色	警報	外部警報接点
電	始動遅延	○	—	赤	ベル	○ (1極)
	過電流保護低下	○	○	赤		
	冷却水温度上昇	○	○	赤		
	過電圧	○	○	赤		
	過電流	○	○	赤		
	緊急停止	○	○	赤		
	制御電圧低下	○	○	赤		
	燃料油最低油量	○	○	赤		
	燃料油最低温度	○	○	赤		
	発電機保護低下	—	—	赤		
機	異常電圧低下	—	—	赤	ブザー	○ (1極)
	又は蓄電池温度上昇	—	—	赤		
機	保護故障	—	—	赤		

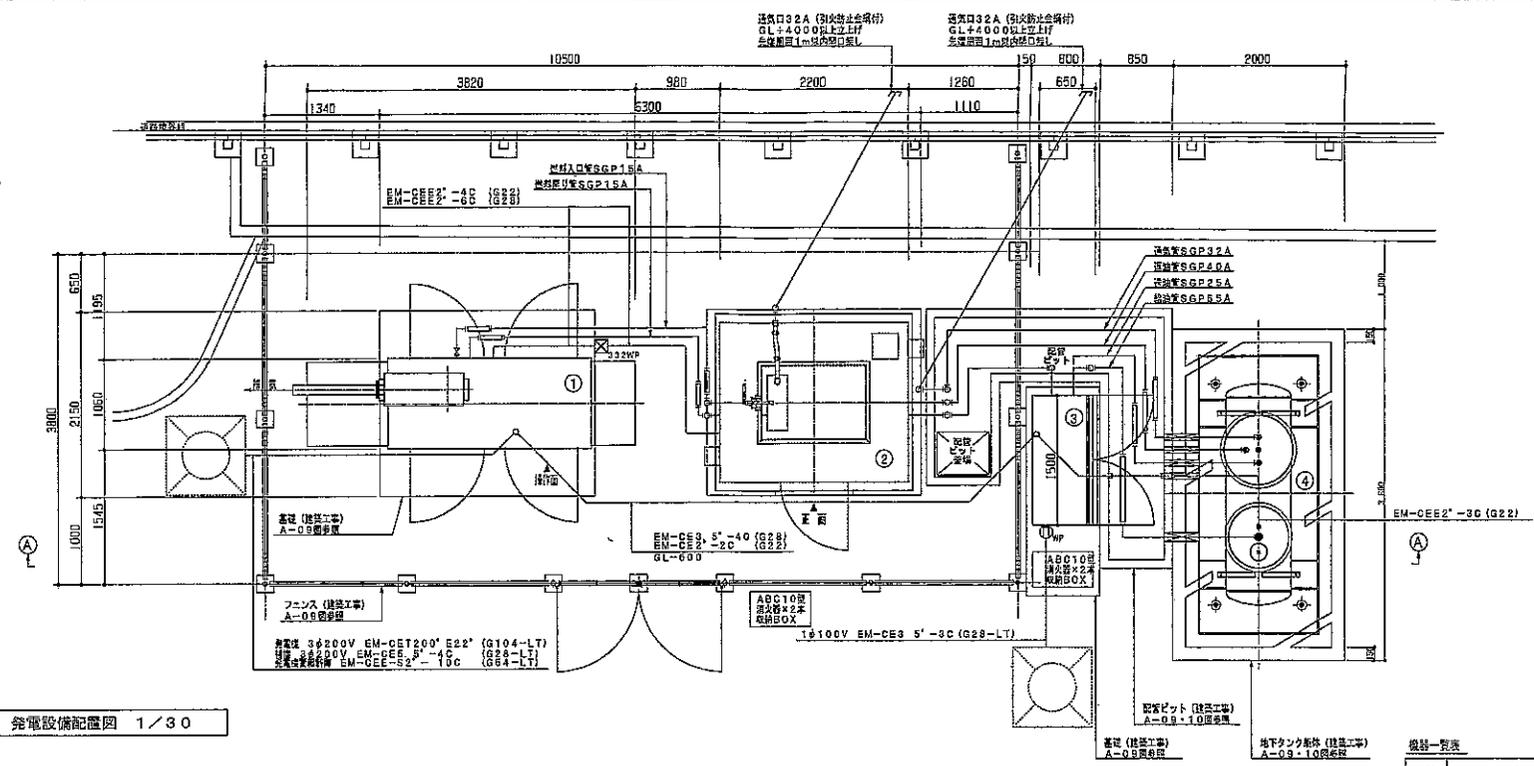
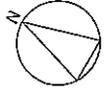
単線結線図



配管系統図



特記事項
1. 本図は、新設を表し、图中、発電設備一式の新設を行う。

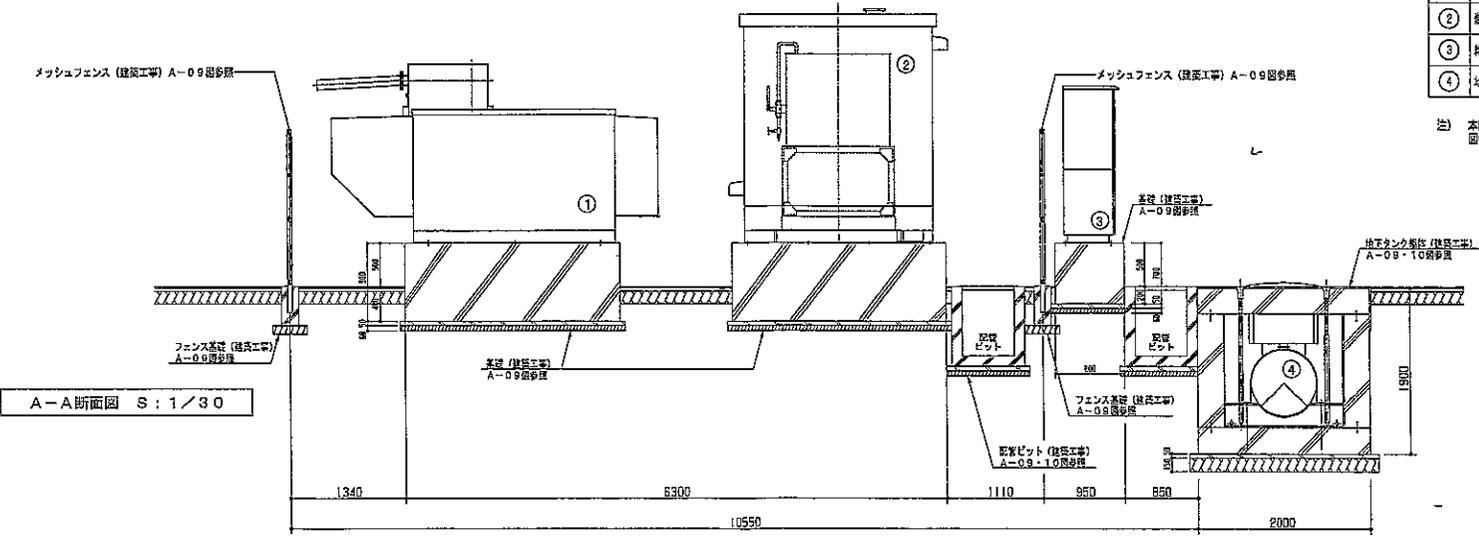


発電設備配置図 1/30

機器一覧表

記号	名称	仕様
①	非常用発電機	巻形キューピル形 3φ220V E2.5kVA
②	燃料小出箱	巻形形 TOSG-950 SUS製 950L (軽油)
③	給油ホックス	巻形SUS製自立形 燃料移送ポンプ・液面計・R型継手付
④	地下貯油槽	地下タンク (TO-0.95) 950L (軽油)

注) 本図は、新設を採す。
 図中、変画及び寸法は参考とする。



A-A断面図 S: 1/30

別記様式第 1

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書		
		年 月 日
消防長（消防署長）（市町村長） 殿		
届出者		
住 所 _____		
氏 名 _____		
電話番号 _____		
<p>下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。</p> <p style="text-align: center;">記</p>		
防火対象物	所在地	
	名称	
	用途	
	規模	地上 階 地下 階 延べ面積 m²
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等		
※受付欄	※経過欄	※備考

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。
- 3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。
- 4 ※印欄は、記入しないこと。

別記様式第2

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

(その1)

名 称			防 火 管 理 者	
所 在 地			点検実施 責 任 者	
点検種別	機器点検・総合点検・(設 備等設置維持計画による 点検)	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日	
設 備 名	点 検 結 果		措 置 内 容	立 会 者
	判 定	不良内容		
	良・不良			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第2

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

(その2)

設 備 名	点 検 結 果		措 置 内 容	立 会 者
	判 定	不良内容		
	良・不良			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

点 検 者					設 備 名	
住 所				氏 名		
社 名				電話番号		
資格		消防設備士				
種類等		交付年月日	交付番号	交付知事		講習受講年月
甲 種	特 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	1 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	2 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	3 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	4 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	5 類	年 月 日				年 月
乙 種	6 類	年 月 日			年 月	
乙 種	7 類	年 月 日			年 月	
備 考						
資格		消防設備点検資格者				
種類等		交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種		年 月 日		年 月 日		
第 1 種		年 月 日		年 月 日		
第 2 種		年 月 日		年 月 日		

点 検 者					設 備 名	
住 所				氏 名		
社 名				電話番号		
資格		消防設備士				
種類等		交付年月日	交付番号	交付知事		講習受講年月
甲 種	特 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	1 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	2 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	3 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	4 類	年 月 日				年 月
甲・乙種	5 類	年 月 日				年 月
乙 種	6 類	年 月 日			年 月	
乙 種	7 類	年 月 日			年 月	
備 考						
資格		消防設備点検資格者				
種類等		交付年月日	交付番号	有効期限		
特 種		年 月 日		年 月 日		
第 1 種		年 月 日		年 月 日		
第 2 種		年 月 日		年 月 日		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社（会社以外の法人に所属する場合は当該法人）に所属する場合には、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。
- 3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習受講年月、有効期限を記載すること。
- 4 誘導灯及び誘導標識の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法（昭和35年法律第139号）第3条に規定する電気工事士免状又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免状、第二種電気主任技術者免状若しくは第三種電気主任技術者免状のいずれかの免状の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免状の交付を受けている者を除く。）

非常電源（自家発電設備）点検票（設備名）					
名 称					防 火 管 理 者
所 在					立 会 者
点検種別	機器・総合		点検年月日	年 月 日～ 年 月 日	
点 検 者	氏名		点 検 者 所 属 会 社	社名 TEL	
				住所	
点 設 備 検 名	原 動 機	製造者名		発 電 機	製造者名
		型式等			型式等
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
機 器 点 検					
設 置 状 況	周 围 の 状 況				
	区 画 等		キュービクル式 キュービクル式以外		
	水 の 浸 透				
	換 気		自然 機械		
	照 明				
	標 識				
表 示					
自 家 発 電 装 置	原 動 機 ・ 発 電 機		種類： / kW		
	冷 却 装 置	ラジエータ、配管等			
		冷 却 フ ァ ン			
	潤 滑 油 類				
その他の付属機器類					
始 動 装 置	※始動用蓄電池設備				
	始 動 用 空 気 備 置	外 形			
		空 気 だ め		MPa L	
		潤 滑 油 類			
始 動 用 燃 料					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。

制 御 装 置	周囲の状況					
	発電機盤					
	自動始動盤					
	補機盤					
	電源表示灯					
	表示灯					
	開閉器・遮断器					
	ヒューズ類			A		
	継電器					
保護装置						
計器類						
燃料容器等	外形					
	燃料貯蔵量	種類	L			
冷却水 タンク	外形					
	水量			L		
排気筒	周囲の状況					
	外形					
	貫通部					
配管						
結線接続						
接地						
始動性能						
運転性能	運転状況					
	換気					
停止性能	手動停止					
	自動停止					
耐震措置						
予備品等						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。

総 合 点 検								
接 地 抵 抗		種 類		Ω				
絶 縁 抵 抗				MΩ				
自家発電装置の接続部								
始 動 装 置	※始動用蓄電池設備							
	始動用空気圧縮設備				L			
	始 動 補 助 装 置							
保 護 装 置								
※※ 運 転 性 能	負 荷 運 転				kW			
	内 部 観 察 等							
切 替 性 能	運 転 切 替 性 能							
	※蓄電池切替性能							
	始動用燃料切替性能							
備 考	電気主任技術者 氏名及び番号 負荷運転又は内部観察等の最終実施年月 (年 月)							
測 定 機 器	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。
 - 票中※※印のあるものは、当該点検項目の最終実施年月を備考欄に記入し、別表第24第2項（6）に規定する運転性能の維持に係る予防的な保全策が講じられている場合は、当該保全策を講じていることを示す書類を添付すること。

非常電源（蓄電池設備）点検票（設備名）					
名 称				防 火 者	
所 在				立 会 者	
点検種別	機 器 ・ 総 合	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日		
点 検 者	氏名		点 検 者 社 属 会 社	社名	TEL
				住所	
点 設 備 検 名	蓄 電 池	製造者名		充 電 装 置	製造者名
		型式等			型式等
	逆変換装置	製造者名		直 交 変 換 装 置	製造者名
		型式等			型式等
点 検 項 目		点 検 結 果			措 置 内 容
		種別・容量等の内容	判 定	不 良 内 容	
機 器 点 検					
設 置 状 況	周 囲 の 状 況				
	区 画 等		キュービクル式 キュービクル式以外		
	水 の 浸 透				
	換 気		自然 機械		
	照 明				
	標 識				
蓄 電 池	外 形				
	表 示				
	電 解 液				
	減 液 警 報 用 電 極				
	液 漏 れ 警 報 用 電 極				
	総 電 圧		V		
	セ ル 電 圧		V		
	負 荷 容 量				
	均 等 充 電				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

充 電 装 置	外 形				
	表 示				
	開 閉 器 ・ 遮 断 器				
	交 流 入 力 電 圧		V		
	トリクル・浮動・ 定電流定電圧充電電圧	トリクル 浮動 定電流定電圧	V		
	均 等 充 電 電 圧		V		
	出 力 電 流		A		
	負 荷 電 圧		V		
	負 荷 電 流		A		
	自 動 充 電 切 替 接 地				
逆 変 換 装 置	外 形				
	表 示				
	開 閉 器 ・ 遮 断 器				
	交 流 出 力 電 圧		V		
	交 流 出 力 電 流		A		
	周 波 数		Hz		
接 地					
直 交 変 換 装 置	外 形				
	表 示				
	開 閉 器 ・ 遮 断 器				
	交 流 入 力 電 圧		V		
	充 電 電 圧		V		
	充 電 電 流		A		
	交 流 出 力 電 圧		V		
	交 流 出 力 電 流		A		
接 地					
結 線 接 続					

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第25

非常電源（蓄電池設備）（その3）

ポンプ	外形							
	性能							
タンク・配管等								
制御装置								
耐震措置								
予備品等								
総合点検								
接地抵抗		種	Ω					
絶縁抵抗			MΩ					
容量								
切替装置								
電圧計・周波数計								
警報動作								
減液警報装置								
液漏れ警報装置								
電圧調整範囲								
負荷電圧補償装置								
タイマー								
備考	電気主任技術者 氏名及び資格							
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

蓄電池充電記録

形名 _____ 充電電流 _____ A _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分測

定

電池番号	単電池電圧 (V)	電解液比重	電解液温度 (°C)	電池番号	単電池電圧 (V)	電解液比重	電解液温度 (°C)	電池番号	単電池電圧 (V)	電解液比重	電解液温度 (°C)
1				31				61			
2				32				62			
3				33				63			
4				34				64			
5				35				65			
6				36				66			
7				37				67			
8				38				68			
9				39				69			
10				40				70			
11				41				71			
12				42				72			
13				43				73			
14				44				74			
15				45				75			
16				46				76			
17				47				77			
18				48				78			
19				49				79			
20				50				80			
21				51				81			
22				52				82			
23				53				83			
24				54				84			
25				55				85			
26				56				86			
27				57				87			
28				58				88			
29				59				89			